２０２６年１１月１日

俳句の会「芦火」

☆柑蘆同人誌「芦火」第７５３号（令和八年十一月号）

・表紙：時雨（初冬・天文」（次月兼題）



【季語】時雨（初冬・天文）

【子季語】
朝時雨、夕時雨、小夜時雨、村時雨、北時雨、片時雨、時雨雲、時雨傘、時雨心地、時雨の色、月時雨、松風の時雨

【解説】
時雨とは、冬の初め、降ったかと思うと晴れ、また降りだし、短時間で目まぐるしく変わる通り雨のこと。
この雨が徐々に自然界の色を消して行く。先人達は、さびれゆくものの中に、美しさと無常の心を養ってきました。

【有名俳人の句】
・草枕犬も時雨るかよるのこゑ／松尾芭蕉
・あはれさやしぐるる頃の山家集／山口素堂
・天地の間にほろと時雨かな／高浜虚子
・まぼろしの鹿はしぐるるばかりかな／加藤楸邨

・国栖人のしぐれて染めし楮紙／長谷川櫂
・小夜時雨上野を虚子の来つつあらん／正岡子規
・母葬る土美しや時雨降る／橋本多佳子
・チェホフを詠むやしぐるる河明り／森澄夫
・幾人かしぐれ掛けぬく勢田の橋／内藤丈草

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

☆高得点者および高得点句

＊前月の清記表に記載された１０名の５０句のなかから互選の結果、以下の同人が高得点者となりました。併せて高得点句も掲載します。

＜高得点者（敬称略）＞

１２点　恵吾、１１点　六甲、勝、１０点　要、９点　温州、穂心

＜高得点句（４点以上）＞

◎４点以上の高得点句

・秋の蝶もつれ合ひつつ天に融け／六甲・・・7点
・敬老日喜寿が米寿を祝ひけり／温州・・・・7点
・桔梗咲く駅舎に今も伝言板／穂心・・・・・7点
・廃校の校庭広し秋時雨／勝・・・・・・・・6点
・行く先はひょうたん島か鰯雲／要・・・・・４点
・巡礼の熊野三山秋の声／恵吾・・・・・・・４点

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

☆特選句および選評

＊５０句の中で特によかったと思った句に選評を付して各人が一句選びます。
特選句には２点のポイントが与えられますが、特選句が必ずしも高得点句になるとは限りません（高得点句になるには多くの同人の選句が必要です）。

・桔梗咲く駅舎に今も伝言板／穂心・・・・・２名の選
（選評）・片田舎のJRの駅舎の伝言板。今も利用されているのだろうか。駅員不在の為無用の儘放置されているような気がする。
・風情のある情景が浮かんできます。季語がいい役割を果たしているのと、「今も」という言葉が良く効いています。
・巡礼の熊野三山秋の声／恵吾・・・・・１名の選
（選評）・澄んだ秋の空気、巡礼の鈴の音、森林にこだまする光景が浮かびます。
・廃校の校庭広し秋時雨／勝・・・・・１名の選
（選評）・移りゆく夜の悲哀を感じます。
・敬老日喜寿が米寿を祝ひけり／温州・・・・・１名の選
（選評）・現代の世相そのものの一句です。私達の老人会の平均年齢は遂に八十三・五歳。会員は半減、六十代会員ゼロ名、七十代少々。近隣の町内では役員の成り手が無く、殆ど解散。
・登高や本一冊を携へて／甲舟・・・・・１名の選
（選評）・旧暦九月九日、重陽の節句である。菊酒ならぬ本一冊を高き山に携えてゆく。そのすっきりとした心映えに感動した。

・秋の蝶もつれ合ひつつ天に融け／六甲・・・・・１名の選
（選評）・何かの拍子に見失った蝶を、「天に融け」とはうまい比喩ですね。
・物故者の多き名簿や秋の声／甲舟・・・・・１名の選
（選評）・和大経済の卒業生名簿をみても、若くして亡くなっている人が多い。「あの人も・・またこの人も・・」忘ぜん自失で立ち尽くす。
・行く先はひょうたん島か鰯雲／要・・・・・・・１名の選
（選評）・ひょうたん島と鰯雲の取り合わせが絶妙。昔見たひょうたん島の人形劇を思い出した。
・猫じゃらし独りぼっちは淋しかろ／要・・・・・１名の選
（選評）・狗尾草は通称「ねこじゃらし」。空地があればどこでも繁殖する生命力の強い草です。都心の中央分離帯でも根付いていた。遊ぶ用具が多様化し、今では道の草で遊ぶ子もいなくなった。そんな雑草に思いを寄せた作者に注目。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

☆その他のトピックス

１．今月号の清記

◎今月は１０名の方が合計５０句を出句されました。

２．近況報告等

・勝様、善富様、要様、碧亥様、六甲様、穂心様よりそれぞれ近況報告等がありました。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

＜俳句の会「芦火」概要＞

・会員は柑芦会会員
・現在の会員は大学３期卒から２５期卒の１１名
・昭和３８年（１９６３年）結成・・・約６０年の歴史
・会員の作句は通信俳句誌「柑蘆同人誌・芦火」に掲載され毎月各人に配付
・創刊以降毎月発刊。令和４年（２０２２年）６月に第７００号発刊。
・５０号ごとに句誌を発刊。令和４年５月に「芦火第１４号句集」発刊
・創刊時からの延べ会員数、７２名（高商３２名、高商教授１名、大学３９名）

＜編集者・コンタクト先および会費＞

・編集者：穂永　千秋（大学１７期）（俳号：穂心）
メルアド：suishin2010@dream.ocn.ne.jp／携帯：090-9887-2513
・その他のコンタクト先;
・山下　勝（大学１４期・前編集者）（俳号：勝）
メルアド：yama723@nifty.com／携帯：090-1349-6727
・平林　義康（大学２０期）（俳号：温州）
メルアド：hirabayashi9497@yahoo.co.jp／携帯：090-8525-7293
・会費：年会費１万２千円

以上

（文責：平林　温州）